

一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	2年A巡	単元	実習	教科名	2A_1年点検2	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	定期点検作業要領書		発行日	2026年4月1日
			法令教本			
総時限	24時限		法令JIGKU		教科 担当	北岡 尚人
総時間	38.4時間		実習ノート			渡邊 泰史
単位数	1					

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車整備士として、自動車の定期点検の経験ある教員により定期点検基準に則った指導をする。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ① 自家用乗用自動車の法定1年点検が設定時間内に安全、確実に出来る。
- ② 点検整備記録簿の作成が正確に出来る。
- ③ 消耗品交換作業が安全、確実に出来る。
- ④ お客様に対して整備結果説明が確実に出来る。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ① 自家用乗用自動車の法定1年点検が設定時間内に安全、確実に出来るようになる。
- ② 点検整備記録簿の作成が正確に出来るようになる。
- ③ 消耗品交換作業が安全、確実に出来るようになる
- ④ お客様に対して整備結果説明が確実に出来るようになる

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・ 学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
- ・ 合格点：60点以上
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
- ・ 不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- ・ 再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。
1年C巡1年点検の実習ノートを基に法定一年点検項目、お客様対応等を確認し復習する。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

